



CHARTERED IN
NOVEMBER 21, 1955

THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S

札幌クラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO

2015年2月

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

TOF (TIME OF FAST) 断食のとき

— 主 題 —

- | | |
|---------|-------------------------------|
| 国際会長 | 「言葉より行動を」 |
| アジア会長 | 「未来を始めよう、今すぐに」 |
| 東日本区理事 | 「誇りと喜びを持って」 |
| 北海道部部长 | 「情熱と行動」 |
| 札幌クラブ会長 | 「Think Globally, Act Locally」 |

- | |
|-------------------------|
| Isaac Palathinkal (インド) |
| 岡野 泰和 (大阪土佐堀) |
| 田中 博之 (東京) |
| 宮沢 祐一郎 (北見) |
| 伏木 康 (札幌) |

- 札幌クラブ役員
- | | |
|------|--------|
| 会 長 | 伏木 康 |
| 副会長 | 八田 信之 |
| 書 記 | 柳 沼 慈子 |
| 副書記 | 中田 千鶴 |
| 会 計 | 宮崎 善昭 |
| 直前会長 | 阿部 寛司 |

今月の聖句

片手を満たして慰いを得るのは、両手を満たしてなお苦勞するよりも良い。 ヨハネの言葉 4章6節 宮崎善昭選

剣を取る者は皆、剣で滅びる

担当主事 秋葉 聡志

イスラム過激派組織「イスラム国」により、人質となっていた二人の日本人が殺害された。なんともやりきれない事件である。日本人だけでなく、国を越え、宗教を越えて、多くの、普通の感覚の人々が「イスラム国」に対して強い憤りを感じたことであろう。安倍首相の中東訪問での演説が、日本人を標的としたテロを誘発したとも言われている。「イスラム国」は、今後も日本人を敵とみなし、テロを繰り返すと言う。これが悪夢の始まりであると恐怖をあおる。安倍首相は、テロには屈せず国際社会と連携してテロリストを撲滅すると言う。安全保障法制の転換を図って、自衛隊を人質奪還のために海外へ派遣することも検討することになるかもしれない。やられたらやり返す報復合戦になる気配である。

どんな宗教も人を殺すことを良しとはしていない。ましてや、ユダヤ教から派生したキリスト教、イスラム教とも教義は違っても、世界を創造した唯一の同じ神を信仰する一神教である。その聖典である聖書は「殺すな」と命じている。テロリスト集団を操る者たちは、自らの利害のために自己中心的な動機で組織を動かしているに過ぎず、それは、もはや信仰とは言わない。

聖書の中でイエスは平和への道を教える。「あなたがたも聞いておおり、『目には目を、歯には歯を』と命じられている。しかし、わたしは言う。悪人に手向ってはならない。だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬も向けなさい。」復讐してはならない。イエスは言う。裁きは神が行うこととも。神に委ねることにより、暴力の連鎖を断ち切ることが平和の実現

こうも言う。「あなたがたも聞いておおり、『隣人を愛し、敵を憎め』と命じられている。しかし、私は言う。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。」これこそイエスの教えの真骨頂。自らの生き方でこのことを示された。

さらに自分を捕えようとするローマ兵に抵抗するペテロに向かい、「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」と諷めるイエスであった。暴力は、暴力しか生み出さない。結局暴力に頼るものは暴力により滅びる運命である。イエスは剣をさやに納めなさいと言われている。

イエスのこの世での最後は、無抵抗・非暴力の死だった。罪ある者を罪に定めず、そればかりか自らに罪を背負い十字架にかかり、自分を迫害する者のために祈り、とりなしたイエスであった。

私たちキリスト信仰に生きる者の生き方は、このイエスに示された無抵抗・非暴力の生き方こそが倣うべき平和への道である。暴力は、暴力の連鎖しか生み出さないことを知るべきである。徹底した無抵抗・非暴力と対話による解決を図ることが平和への唯一の道である。私たちは神の子として、平和を実現する者であり続けたい。



札幌ワイズメンズクラブ

札幌

2015年1月合同例会 出席報告	在籍会員 11名 ゲスト 3名	例会出席 7名 ビジター 11名	メネット 0名 出席者合計 20名	メーキアツプ 0名 出席率 75%
---------------------	--------------------	---------------------	----------------------	----------------------

2015年2月例会

日時 2015年2月17日(火) 18:30~20:30

会場 クラッセホテル札幌 2F会議室

札幌市中央区大通西7丁目

☎ 011-281-3800

会費 1,200円

プログラム

司会 中田 千鶴

- ① 開会点鐘 札幌クラブ会長 伏木 康
- ② ワイズソング・ワイズの信条 全員
- ③ 聖句 宮崎善昭
- ④ 会長挨拶 会長 伏木 康
- ⑤ 誕生日・結婚記念日 なし
- ⑥ 入会式

川上 由美子様



- ⑦ 卓話
「セラピー・ドッグの話」
日本基督教会札幌白石教会
牧師 齋藤 義信師
- ⑧ 諸報告
- ⑨ YMCA報告 担当主事 佐藤 雅一

- ⑩ みんなで歌おう

「どじょっこ、ふなっこ。」



- ⑪ 閉会点鐘 会長 伏木 康

時：2015年1月12日(月) 18:00~20:30

所：東京ドームホテル札幌2F

参加者：計21名

ゲスト：吉田安(卓話者)、川上由美子(入会候補者)

ビジター：田中博之(東京)、宮澤祐一郎(十勝)、

山下真、山田敏明(十勝)、

札幌北クラブ：中原准一、伊藤孝子、小谷和雄、熊俊彦、高杉純二、森熊治郎、森本武、義村小夜子

札幌クラブ：伏木康、佐藤雅一、柴田伸俊、中田千鶴、中田靖泰、宮崎善昭、安田文子

定刻に伏木会長の点鐘、挨拶。

公式訪問の宮澤北海道部部長は、各クラブの活動を報告された後、ワイズが活動するためのファンドの重要性を強調され、北見クラブの「ビールパーティー」の実例を紹介されました。

田中東日本区理事の「急に時間が空いたので参加出来ました。任期の半分が過ぎました。『折り返しですね』という方がいますが、折り返しではありません。誇りと喜びをもって前に進みます」と力強い乾杯挨拶で開宴。

宴半ばから今年の特別企画・全員による「私の今年の漢字」の発表が始まりました。清水寺の「今年の漢字」(税とか偽とか変)のようにネガティブなものではなく、皆誇りと喜びを持った明るいものばかりでした。下図をご覧ください。各人の思いはご想像下さい。

「私の今年の漢字」の次はもう一つの特別企画「東日本区クラブ名ビンゴ」です。このビンゴの狙いは普段馴染みの薄い他の部のクラブの名前、歴史、活動などを覚え、学び、競い合おうとするきっかけにしようというものです。クラブの名前が読み上げられる度に田中理事がそのクラブの特長、セールスポイントを軽妙な語り口でユーモアを交えて説明し、会場は盛り上がりました。東日本区との一体感も深まり、多くの会員のワイズライフは新しいステージに入ったような気がします。ご興味あるクラブには札幌クラブ特性のカードをお送りいたします。なお、ビンゴの豪華賞品は理事、部長、各クラブ会長が持参してくれるので、予算は意外にかかりません。(もっとも賞品提供を強要されたと思っていらっしゃる役員がいるかもしれませんが。)なお、東日本区賞を獲得したのは伏木札幌クラブ会長でした。帰宅して虎屋の羊羹は大人気だったそうです。実りある合同例会でした。遠路ご参加いただいたみなさんに厚く御礼申し上げます。来年からは東京にならって「在道ワイズ合同例会」にしよう」という声もあります。来年は北ワイズの新企画に期待します。



新入会員紹介

川上 由美子様

不動産関係の会社の社長さんです。長年、YMCA 賛助会員でしたが、今回、入会して下さいました。札幌クラブで活躍し、結婚で退会し、東京に行かれた元会員の川上雅貴君のお母様です。

何故この句を

宮崎 善昭

私たちは、両手を満たすと尚、欲しくなるのが常です。何事にも量や数では計り知れない意味が必ずあります。計ろうとする合理性を廃してそこにある真理に気づきたいものだと思います。

2015年	今年の漢字		札幌・札幌北クラブ		
吉田 安	耐	小谷 和雄	健	佐藤 雅一	節
川上由美子	歡	熊 俊彦	伝	柴田 伸俊	減
田中 博之	喜	高杉 純二	継	中田 千鶴	楽
宮沢祐一郎	真	森本 武	豪	中田 靖泰	今
山田 敏明	歡	中原 准一	未	伏木 康	笑
山下 真	変	森 熊治郎	絆	宮崎 善昭	見
伊藤 孝子	笑	義村小夜子	無	安田 文子	動

50年

元道新スポーツ社長 吉田 安氏



ブンヤ一筋の人生を語る吉田氏

**前列肥大から、
義村、田中理事、
宮沢北海道部
長、山下 IT**

私は 1953 年(昭和 28 年)大学を卒業し、22 歳で北海道新聞に入社。社会部記者を振り出しに、ほぼ半世紀にわたり、所謂ブンヤ稼業を続けました。在社中、大半を切った張ったの社会部に在籍、それを終生の誇りとして参りましたが、もう 10 年程前の平成 14 年 3 月 1 日、機構改革で社会部が消え、政治経済部と社会部が合体して「報道センター」と変わってしまいました。残念な気持ちはありますが、これもテレビや他媒体メディア等の相次ぐ進出でやむを得ぬ現象でしょう。

コンサドーレはただの逆読み! 退職後は月刊誌や機関誌などに頼まれ原稿を書いたり、日本初のサッカー・リーグで新発足した北海道のプロチーム「コンサドーレ札幌」の相談役に招聘されて、2 年間全国の試合に脚を運んでいました。御存じの方も多いと思いますが、コンサドーレの名づけのいわれは、ドサンコ(道産子)の逆さ読みなんです。Jリーグ初代チェアマンの川淵三郎さんから「何ともそっけない名づけ一。崇高な理念が感じられませんネ」と、笑われたことが、忘れられません。さて、私は道新、東京支社社会部記者時代、天皇ご一家がお住まいになる皇居内の宮内省記者クラブに配属され、約 3 年間、丸の内の坂下門から皇居へ日参していました。

伊達の薄着 その中で、特に印象に残っているのは、三笠宮様との会見でした。12 月初旬の真冬。宮様は大正 4 年(1915 年)12 月 2 日生まれ。現在 99 歳のご高齢で、「白寿」のご誕生日をむかえられます。亡くなられたご長男の『髭の殿下』こと三笠宮寛仁親王殿下は札幌クラブの中田靖泰君のオックスフォード大学時代の教え子と伺っています。ある年のお誕生日記者会見で三笠の宮様のズボンの裾下に靴下を付けていないおみ足が見えたので咄嗟に、「殿下おみ足お寒くありませんか。殿下は、伊達の薄着でいらっしゃいますネ」と声をかけてしまいました。「伊達者の薄着風邪ひかず」という「粋がって薄着する人が意外と風邪をひかない」という事を言うのですが、その場に居合わせた宮内省のお偉方から「殿下に対し、ぶしつけな言辞です」と言われるかなと一瞬、後悔しました。

でも若い係官から「北海道さん。伊達の薄着とはよくぞおっしゃった。でも殿下に通じたでしょうかネ」と声をかけられ、ホッと胸をなで下しました。やぐざな社会部記者気質がつい口を突いて出てしまうこの癖は、新聞記者を廃業して 20 年経つと治りませぬ。2015 年 2 月 p. 札幌



皇室のお話から全く真逆な話になりますが、私は岩見沢支局長として在任中、取材範囲の月形町に毎週 1、2 度は通っていました。この街には、明治 12 年(1879 年)に設立された我が国初の国立監獄である樺戸監があり、初代典獄となった内務省書記官月形潔の名が

★★★★ 2015 年 2 月 ★★★★★ **YMCA ニュ**

1879 MCA セミナー

集近年多様化する若者文化や価値観において次世代のリーダーの育成が教会やキリスト教系教

◎YM スキル 活動報

- ▼テーマ 「信頼関係を作り、成長を見守る」
- ▼講師 岡村 直樹氏 東京基督教大学教授
- ▼日時 2015年 2月15日(日) 14:00~15:00
- ▼場所 北海道 YMCA (札幌市中央区南 11 西 11)



今後の日程	
2月 9日	札幌北クラブ 2月例会
2月 15日	YMCA 会員セミナー 於札幌 YMCA
2月 17日	札幌クラブ 2月例会
3月 22日	YMCA サッカー大会 於札幌 YMCA
3月 24日	札幌クラブ 2月事務会
3月7~8日	Y's Bell 杯水泳発表会 於札幌Yプール
3月7~8日	次期クラブ会長・部役員研修会 東山荘

ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。